

## 令和2年度 第3回 社会教育委員の会議 摘録

- 【日 時】 令和3年2月3日（水）午後3時00分～午後4時30分
- 【場 所】 生涯学習支援センター 1階 多目的室
- 【出席委員】 堺（裕）委員、金子委員、牧菌委員、堺（婦）委員、野田委員、松尾委員、江崎（君）委員、江崎（美）委員、後藤委員、岡本委員、黒田委員、須寄委員、柿川委員
- 【欠席委員】 堤委員
- 【行政関係者】 中島市民協働部長、富安市民協働部調整監、徳川地域コミュニティ推進課長、浦川地域コミュニティ推進課社会教育主事、岡同課社会教育担当職員、西山同課社会教育担当職員
- ※緊急事態宣言が発出されたため、行政関係者は市民協働部長、市民協働部調整監、地域コミュニティ推進課長、事務局のみの出席

### ◆あいさつ

中島市民協働部長

### ◆議 題

令和2年度社会教育・生涯学習事業について

配布資料『社会教育事業等の推進状況』に基づき、事務局より報告。

議長	オリンピックの運営については、今後も流動的に動いていくのか。
委員	流動的に動いていく。

### 地区公民館の在り方の検討について

配布資料『地区公民館の在り方の検討と今後の方向性について[検討の進め方のイメージ]』、『交通手段における各館の担当校区と近隣校区等の傾向と自家用車利用率の分析』、『学校再編の動きと地区公民館の担当校区の関係【R9(2027)】』、『地区公民館の利用者の年齢構成の推移 H14とR2のアンケート調査による比較』に基づき、事務局より説明。以下の意見・質問が出た。

委員	配布資料『地区公民館の在り方の検討と今後の方向性について[検討の進め方のイメージ]』に記載されている提言の骨子に「魅力ある講座の実施による利用者増と住民の集う場、防災などの地域拠点」（現在提言の具体的内容に記載）を加えてほしい。地区公民館は生涯学習の場であるが、令和2年7月豪雨の経験から地域住民の方は避難所としての機能も重視している。
議長	「防災などの地域拠点」だけを骨子に加えるのか。
委員	今年度実施された地区公民館の利用者アンケートでは、地区公民館がどのようなことを行っているかわかりにくいという結果があったため、「魅力ある講座の実施による利用者増と住民の集う場」も一緒に加えた方が良い 「魅力ある講座の実施による利用者増と住民の集う場、防災などの地域拠

	点」ではなく、もう少し短い言葉でも良いと思う。
委員	分科会の中でも地区公民館が様々な情報の発信拠点となれば良いとあがっていたため、骨子に「魅力ある講座の実施による利用者増と住民の集う場、防災などの地域拠点」を加えることは良いと思う。
事務局	地区公民館の在り方の検討を進めるにあたって現状を説明したが、その中で地区公民館は社会教育施設ではあるものの、様々な機能を持つ施設へと変わってきており、利用実態も変わってきている。その機能の中に防災も含まれている。建物の中にどのような機能が必要かということも意見を頂きたい。
委員	地区公民館には人づくり・地域づくりという本来の機能・役割があり、防災拠点であれば、地区公民館ではなく小学校等でも防災拠点としての役割は担えるものだと思う。提言の骨子には地区公民館の本来あるべき姿を記載すべきだと思うので、防災拠点を加えなくてもいいのではないかと。
委員	拠点というのは、防災を含む様々な情報発信としての拠点と避難所などの防災施設としての拠点があると思う。防災の施設としては地区公民館の提言の骨子に加えるべきか悩むが、情報発信という意味では加えていいのではないかと。
委員	地区公民館は避難所になっており、地区公民館から避難所情報（避難所の開設状況や避難者の受け入れ状況など）を LINE で発信するといいいのではないかと。そうすれば、災害時に地区公民館が避難者で一杯になり、別の避難所に再び行かなければならないということもなくなるのではないかと。
議長	地区公民館が効率的に機能するための情報発信ということか。
委員	そうである。どこに避難していいかわからないということがなくなり、役立つと思う。
委員	避難所の拠点となると駐車場や近くの道路が水に浸かるなど様々な問題がある。
委員	例えば三川地区公民館の場合は、近くの船津公園を開放してもらい駐車場を確保した。様々なところと協力していかなければ、地区公民館だけですべての機能を完結させることは難しい。
委員	災害が増えてくると学校や地区公民館だけではなく、大牟田市全体で取り組むべきではないか。防災に特化した施設を作るなど本格的に考えていく必要があるのでは。
議長	防災の拠点という言い方だと、いかにも地区公民館が中心となって防災に取り組む施設のように捉えられてしまうかもしれない。地区公民館としてできる防災の取り組み方を事務局で考えていただきたいということで良いか。
委員	駛馬校区まちづくり協議会では駛馬地区公民館と連携し毎年防災訓練を実施し、その中で校区ごとに LINE グループを作った。災害の際には「どこの避難所に何人避難者がいるから別の避難所へ避難してください。」と、

	<p>LINE を活用して情報発信を行った。現在駿馬校区では、校区ごとにうまくまとまって組織化し、情報発信の拠点として機能できている。校区ごとにまとまった防災拠点として将来的に進めていければいいと思う。また、避難所として地区公民館を利用する際には校区の人が歩いて来館できるような、誰もが利用しやすいような立地条件である必要があると思う。</p>
議長	<p>配布資料『地区公民館の在り方の検討と今後の方向性について[検討の進め方のイメージ]』に記載されている提言の骨子「④地区公民館に来ることができない人へのさらなる学習機会の提供と情報発信の強化」とあるが、誰もが地区公民館に行くことができるということが大事だとすると、地区公民館に来ることができない人がいてはいけないのではないかと。</p>
事務局	<p>「④地区公民館に来ることができない人へのさらなる学習機会の提供と情報発信の強化」のイメージは地区公民館までは車がなく、なかなか来ることができない人も地域の町内公民館や地域交流施設にサークル活動・学習活動をできるように地区公民館職員が出向いて講座などを行うイメージである。</p>
事務局	<p>このイメージは移動困難者・免許返納が増えていく中で、学習をしたいと思っている方の学習の機会をどのように増やしていくか、大牟田市社会教育・生涯学習基礎調査研究の中で、無関心層へのアプローチが大切という結果が出ており、無関心の人が身近な場所で学習できるように仕組み作りをどのように行っていくかという2点を考えたもの。</p>
議長	<p>どこの地区でも差がなく学習の機会ができるように進めていかなければならないということか。</p>
事務局	<p>そうである。</p>
委員	<p>『地区公民館の利用者の年齢構成の推移 H14 とR2 のアンケート調査による比較』には公民館利用者は40代から80代以上が大半を占めているが、実際サークル会員に多いのは60代後半から80代。これから先の新しいサークル会員のなり手がいないとサークルが消滅していく。そこで地区公民館が地域と学校を結び付けてくれると、若い世代が地区公民館を利用するきっかけとなり、新たな利用者が増えるのではないかと。また、若い世代が参加しやすいような講座を実施すると若い世代も地区公民館に集まってくるのではないかと。公民館利用者の多くはサークル会員であるため、このままだと利用者も減少するのではと思う。</p>
議長	<p>提言の骨子の「地域活動の拠点」に力を入れてほしいということか。また、提言の具体的内容にも「魅力ある講座の実施による利用者増」とあるので、ぜひとも丁寧に考えていってほしい。また、立場の弱い人、障害のある人にとっても魅力的な講座を実施してほしい。</p>
委員	<p>『社会教育事業等の推進状況』を見ていると、自分も参加すればよかったと思う講座が沢山あった。PTA の集まりや学校などに地区公民館から出向いて講座を行っていただければ良いと思う。学校も巻き込んで講座を実施し</p>

	ていければいいのでは。
議長	地域、学校、家庭の連携を推進し、住民同士のつながりを強化ではなく強化するためのコーディネートをするという言い方がよいのでは。

#### 社会教育委員の会議を振り返って

議長	コロナ禍でも意見交換を行えたことが良かったと感じている。初めて社会教育委員になられた方はいかがか。
委員	サークル連絡会の代表として来たが、学校や地域の方と直接関わりがあるわけではないため、会議の内容がとても難しく感じた。
議長	それぞれの委員の日頃の活動や立場について事務局から聞いて勉強し、委員の意見をどういうところに反映できるか、それぞれの立場から話し合いができるように考えて運営していく。
委員	委員のそれぞれの立場からの意見を聞いて、見方、捉え方が幅広く自分の視野が広がった。PTA という立場から学校の事ばかりを考えていたが、校区まちづくり協議会の運営委員としての活動をしている中で後継者の話が出ており、本会議の話とも繋がり、知見が広がった。

#### ◆その他

##### (仮称) 総合体育館について

スポーツ推進室徳永室長より説明。